

令和3年度 高山市誰にもやさしいまちづくり推進会議 会議録（要旨）

日 時：令和4年3月25日（金） 13時30分～15時00分

場 所：高山市役所4階 特別会議室

出席者：高山市誰にもやさしいまちづくり推進会議委員 12名

（オンライン出席5名を含む）

（欠席者3名） ※別紙名簿のとおり

高山市企画部長、企画課長、企画課係長、建築住宅課係長、企画課担当

会議内容（次第）

1. 開会

2. 市あいさつ（田谷企画部長）

3. 会長及び副会長の選出について

会長 西山委員

副会長 窪田委員

4. 議事（議長：西山会長）

(1) 誰にもやさしいまちづくりの見直しの経緯（報告）

資料に基づき事務局が報告

野崎委員

- ・ 子どもから高齢者までの幅広い対象を考えると、施設であるハードと人を中心としたソフトの取組みを充実するという仕組みはわかりやすい。
- ・ 妊産婦や、発達障がいなどの内部障がいなど、外見からはわからない方もいるなかで、すべてがやさしいという視点での見直しは評価できる。

谷口委員

- ・ コロナ禍でも学校での福祉事業などで子どもと接することがあったが、そのなかで子どもたちが課題として挙げてくれた内容が、本日提示された取組みに盛り込まれている。
- ・ そのほか、施設などが壊れているがいつになったら直すのか、店舗などにはまだまだ段差があり、バリアフリー化してほしいなどの意見があったので、参考としていただきたい。

日下部委員

- ・ 観光という視点から、車いす利用などの際に、看板が高い位置にあると見にくい
ため、目線を低くした取組みが必要と感じている。しかし、伝建地区などでは、
景観の維持とそのような取組みとの兼ね合いが難しい。やさしさというところか
ら、そういった部分への配慮も必要ではないかと感じている。

糸田委員

- ・ これまで外国人の視点というと、外国人観光客のことが中心で、市内在住の外国
人を取り上げていただけていなかったように思う。
- ・ 多文化共生の委員としてこの会議に参加できるようになったということは、住ん
でいる外国の方に対して配慮していただけるようになったということとして、評
価している。

松浦委員

- ・ 例えば、学校から発達障がいの子どもへの配慮として、2階の教室ではなく1階
を使わせたいものの、どうしたら周りの子ども達に納得してもらえるかという相
談があった。難しい問題であるが、ソフトの強化として意識の醸成が必要になっ
ていると感じている。

(1)について了承

(2)誰にもやさしいまちづくりの見直しについて

資料に基づき事務局が説明

林委員

- ・ 建物を増築した場合、例えば大きな施設の一角に車庫を増築しただけで、施設全体が適用対象となってしまう場合がある。
- ・ 小さな増築であっても、適用対象となると建物全体の改修には大きな負担となる。適用除外の事例の公表あるいは費用の助成などで検討してもらいたい。

議長（西山会長）

- ・ 集会施設の補助制度で改修という視点が出てきており、今あるものを活かしていくということでは重要な課題であると思う。

田谷企画部長

- ・ 適用除外などについては、様々な要因があるため、個々の実情に応じた助言等が行えるものと思っているが、適用除外として相談できるものかどうかはわからない状態ということで、今回の見直しにおいて事例を公表していき、建築事業者の方とも共有したいと考えている。
- ・ 文化財的価値のある建築物等の適用除外について、その価値を尊重した形で、棄損の恐れがある場合に、介助などのソフトで対応していくことにより、利用しやすく、文化財的価値も守っていく仕組みとして、見直しすることとしたものである。

野崎委員

- ・ 認定に対して定期的な確認をしていくという視点を評価している。
- ・ 単に認定を受けたということに加えて、定期的に確認を受け、継続して取り組んでいることをわかるように「見える化」していくことが重要である。
- ・ 認定を受けた事業者としても、確認を受けているという安心感が得られ、また、認定を受けている事業所であるという意識付けの機会ともなる。

田谷企画部長

- ・ この見直しの目的としては、施設を取り締まるようなものではなく、制度に対する社会ニーズの変化への気づきを出していくきっかけとなればと考えている。
- ・ 確認をするなかで、課題などを出していただき、この推進会議においてこうした課題について検討していただき、更なる取組みの推進を図っていきたい。

長谷川委員

- ・ 物という観点から、リサイクルしやすいもの、最初からリサイクルしやすい設計を行うということが求められており、SDGsの観点を入れたことは評価できる。

議長（西山会長）

- ・ ユニバーサルデザインも大切だが、SDGsも重要であり、特に同時解決性ということが重要視されてきている。ユニバーサルデザインとエコといった環境にも人にも優しいといったことが両立できると良い。

清水企画課長

- ・ 指針においても物（製品）という視点で、項目を設けており、見直しのコンセプトにも「もの」の視点が重要であるとの認識である。

森口委員

- ・ 条例制定から15年以上の経過ということで、社会が大きく変化している。
- ・ バスターミナルにおいても、外国人観光客が大幅に増加し、バスを利用されることはありがたい反面で、観光客への対応によって逆に市民が利用しにくくなったなどのご意見をいただいた。
- ・ 積雪寒冷期の項目において、今季の積雪によって、バス停が埋もれてしまい、バスが利用できなくなったということが発生した。数多くのバス停を除雪することは、事業者だけの力では不可能なことから、バス停やごみ集積所などの公的な場所については、地域の方のご協力をいただきながら利用できる仕組みがあると良いと感じている。

周委員

- ・ 医療の視点から、高齢者の中でも独居の高齢者に関する課題がある。治療が必要だが引きこもってしまい、最近は町内会活動も希薄となり、必要な治療が受けられないなどがある。
- ・ 民生委員の方が訪問等をしていただけるが、どちらかというとボランティア色が強く、もう少し立場や手当といった面をしっかりと制度として強化していくことが必要ではないかと考えている。

田谷企画部長

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常的にコミュニケーションが取れない方のリスクがますます大きくなっている。
- ・ 民生委員の役割は非常に重要であり、福祉部ともしっかりと協議し、地域やコミュニティにおいても安全性が確認できる仕組みが重要である。

渡辺委員

- ・ 新型コロナウイルス感染症により、修学旅行が大幅に減少したが、少しずつ回復しはじめた。感染症を契機に、修学旅行がこれまでの観光的要素が強いものから、自然体験が重視される傾向にあると感じている。
- ・ 一方で、障がい者の対応については個々の状況や度合いも様々であり、受入側としては苦慮している。
- ・ 学校や事業者などへのヒアリングが非常に重要で、多くの成功事例から、アプローチの仕方、問題の解決などに繋がるよう取り組みが必要と考えている。

窪田副会長

- ・ 2年ぶりに春の高山祭が開催されるが、神社や仏閣といった建物はどの用途となるのか。

清水企画課長

- ・ 会議室などを有する場合には集会場の用途となるという認識である。

糸田委員

- ・ 外国人旅行者へはホームページも12言語などで紹介しているとあるが、在住の外国人に対しての生活情報などを充実させてほしい。
- ・ 以前は在住外国人も中国などの限られた国などであったが、現在はベトナムなどからの在住外国人も多く、今後は多くの技能実習生が高山にお越しになる可能性が高い。
- ・ 住民登録の際に日本や高山での生活について入口の情報を案内するなど、在住外国人に対する取り組みを強化してほしい。

田谷企画部長

- ・ 在住外国人に対する取り組みは十分ではないという認識であり、そのため総合計画の見直しにおいても重点事業として、在住外国人に対する相談窓口等の取り組みを示しているが、取り組みがすすまない状況にある。担当部局とも連携して、積極的に取り組んでいきたい。

議長（西山会長）

- ・ 本日の内容を少しまとめてみると、
 - ①情報の見える化とそのアップデートが大切である
 - ②見えない障がいはどうやってわかっていくのか、「もの」でカバーできない部分について「ひと」がカバーしていくといった、おもてなしのユニバーサルデザインが大切である。
 - ③独居高齢者の問題がある。
 - ④SDGsの誰も取り残さないという視点を大切にしていけるべきである。
 - ⑤外国人対応における観光都市であり生活都市であるという視点が大切である。
- ・ これらを踏まえた取組みを今後すすめていただきたいということで、推進会議としてまとめたうえで、今回の意見を参考に事務局にて指針等の見直しをすすめていただきたい。

(2)について了承

5. その他

意見なし

6. 閉会

高山市誰にもやさしいまちづくり推進会議委員名簿

(敬称略)

任期 令和3年3月1日～令和5年2月28日

区分	分野	団体名(推薦依頼先)	役職	委員氏名	備考
有識者等	有識者 (大学)	東京都市大学	准教授	西山 敏樹	○
	有識者 (多文化共生)	岐阜県多文化共生推進員		糸田 恵子	○
	教育	高山市教育委員会	教育委員	野崎 加世子	○
市民代表	地域福祉	(福)高山市社会福祉協議会	会長	窪田 哲	○
	身体障がい	高山身体障害者福祉協会	副会長	谷口 達朗	○
	高齢	高山地域介護保険事業者連絡協議会	会長	山之上 智也	欠席
	発達障がい	飛騨圏域発達障がい支援センター	支援員	松浦 有喜子	○
	環境	(一社)ふるさと体験飛騨高山	理事	渡辺 豊秋	○
	伝建・町並	景観町並保存連合会	副会長	日下部 勝	○
	市民	公募		小坂 明美	欠席
事業者	医療	高山市医師会	理事	周 信夫	○
	観光	(一社)飛騨高山観光コンベンション協会	副会長	村井 繁喜	欠席
	建築	(公社)岐阜県建築士会飛騨支部	副支部長	林 芳忠	○
	交通	濃飛乗合自動車(株)	取締役	森口 弘樹	○
関係行政機関	技術開発	岐阜県生活技術研究所	所長	長谷川 良一	○